

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		決勝トーナメント(2回戦)	
日時	平成15年8月 23日 (土)	14:50 ~	
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)	Dコート	第5試合
結果	東京成徳	26 - 12	樟蔭東
	(東京)	15 - 17	
	73	21 - 2	
	63	11 - 32	
主審	藤垣 庸二 (宮城)	副審	藤 卓也 (北海道)

【個人トータル表】

東京成徳(東京)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	有山 景子	11	1	2	4	3
5	川村 美穂	15	0	6	3	1
6	板坂 優貴	3	0	1	1	1
7	山田 茉美	8	0	3	2	1
8	津野田 麻恭					
9	光山 慈能	4	0	1	2	1
10	天野 佳代子	24	0	11	2	2
11	長谷川 香奈	4	0	2	0	1
12	富田 夕貴	0	0	0	0	0
13	片山 浅美	0	0	0	0	0
14	藤澤 美里					
15	川鍋 早紀	0	0	0	0	1
16	本山 純子					
17	河合 弥耶					
18	間宮 佑圭	4	0	1	2	1
	合計	73	1	27	16	12

樟蔭東(大阪)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	上部 麻衣	16	1	5	3	3
5	森上 沙知	3	0	1	1	4
6	遠藤 郁佳	7	1	2	0	1
7	姫野 愛	8	2	1	0	1
8	広倉 千夏	13	1	5	0	4
9	泉野 由香	9	1	3	0	3
10	滝澤 綾佳	0	0	0	0	2
11	松浦 由依					
12	高田 美紗子					
13	青木 綾花					
14	広倉 綾乃	0	0	0	0	0
15	藪田 早紀	7	1	1	2	4
16	牧野 由香					
17	中道 麻衣					
18	檜原 亜衣					
	合計	63	7	18	6	22

【戦評】

関東1位の成徳中对近畿1位の樟蔭東中プライドをかけての一戦。ともに持ち味を出し切り勝ち上がってきた。勝った方がベスト4に進出、高さスピードの成徳中、ねばり強いディフェンスとスピードの松蔭東と注目の戦いである。

1クォーター、成徳中はハーフコートマンツーマン、樟蔭東中はオールドコートマンツーマンでスタート。成徳中が高さとスピードを生かし序盤優位にゲームを進める。高さのない樟蔭東中はそれをカバーしようと必死にディフェンスをするがファウルトラブルに苦しめられた。26-12、成徳中が14点リードで終了。

2クォーター、持ち前のねばり強いディフェンスから早い展開に持ち込む樟蔭東中が流れを呼び込む。成徳中は、#4有山が判断よくゲームメイクし仲間の良さを引き出していく。#10天野が高さと走力を生かしゴールを決めていった。終盤、樟蔭東も#8広倉#4上部がスピードとシュート力を生かし得点するも、成徳中41-29樟蔭東中で前半終了。

3クォーター、成徳中#10天野が次々と得点しリードを広げる。#5川村#6板坂の粘りあるディフェンスが見事である。成徳中の集中は途切れることがなかった。樟蔭東中は相手の高さを意識しながらも、果敢にゴールを目指し攻め続けた。62-31と成徳中が大きくリードし終了。

4クォーター、樟蔭東中の怒濤の攻めが始まった。#7姫野の連続3P、#4上部の意地のシュートが次々と決まり10点差まで追いつめた。負けはしたものの、スタメン4人が150cm代のスモルチムの大躍進。見ている多くの者に小さくても「これだけできる」という勇気を与えてくれた。さわやかにカー杯戦った樟蔭東中に大きな拍手を送りたい。成徳中は頂点に向け一歩前進。一戦一戦、持ち味を生かし戦ってほしい。

山田 秀剛(南幌)

【トーナメント戦績】

